

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro川崎		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		2025年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		2025年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>・ 面談の内容が保護者から好評。</p> <p>【保護者意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面談時も親では気付かない点をアドバイスしてもらい助かっている。 ・ 面談がどこの放デイより詳細。 ・ toiroは、面談がしっかりしていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者参加型の懇談会で、保護者の悩みを共有し、各々の相談に対して助言を実施している。 ・ 個別支援計画検討時の面談時間を長めに対応している(約1時間)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援管理責任者の力量に頼っている部分が多いため、OJTを通して人材の育成に務める。
2	<p>・ 毎月のイベントが児童に好評。</p> <p>【保護者意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回今日はtoiro?〇〇さんと遊びたい!とスタッフ、お友達と仲良くしてもらってうれしいです。 ・ 特に外出イベントは楽しみにしています。 ・ 魅力的な外出、アイデアいっぱいの活動とても喜んで楽しんでいます。 ・ 色々イベントを考えて下さりありがとうございます。 ・ 毎回toiroに行くことを楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期イベントでも使用するものを変えるなど工夫している。 ・ 土日に児童が好きな外食、外出、買い物、調理イベントを多めに設定している。 ・ イベントカレンダーに児童の希望を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面談時、保護者からのイベントや支援に対する要望を情報収集し、実施出来る内容は、イベントや専門支援に反映していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>職員の数が少ない。</p> <p>【保護者意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎は可能でしたら2人をお願いします。 ・ ギリギリの数だと思います。 職員の方の負担軽減のため増員がないかなと思います。 ・ 少なく感じます。 	<p>2024年12月～2025年1月で人員の拡充があったが、今後、産休育休で休みが決まっている職員や休んでしまっている職員がいるため継続的な人員の確保が困難。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員離職率を下げる事が重要。 専門職員だけでなくグループで一般職員も専門的支援の取組に関わる事でこどもたちの成長を感じ、仕事に対するやりがいを強く持てる環境作りが必要。
2	<p>生活空間が、清潔で心地よく過ごせる環境になっていない。</p> <p>【保護者意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもからおもちゃ、部屋について不満をいう事がありました。 ・ 壁紙が破れたままだったのが気になった。 	<p>こどもの特性上、壁紙をちぎってしまう児童もいるため早急な対応が困難。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 破ってよい紙、よくない紙の分別がつくような支援が必要。 ・ 他児童も使ったおもちゃなどを片付けたり、掃除の手伝いをしてもらうなど、きれいな環境を作っていくような支援が必要。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		toiro川崎		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	5	活動ジャンルごとに区切りリスクを減らすようにしている。	スペースは狭め	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	7	外出イベント時などは不足ないように配置されている。	個別対応が必要な児童分の人員が不足しているように思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	5	毎日掃除を実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15		相談室で対応している。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15		職員同士が話やすい環境、終礼等のミーティングは行えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	13			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15				
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		毎月イベントカレンダーに5領域を反映させている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		定期イベントでも使用するものを変えるなど工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15			朝ミーティングを実施している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15			終礼を実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1		HUGに記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	15			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15			小さな事でも選択肢をつくるように気を付けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	4		SV巡回訪問の予定あり
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			送迎時に話す時間を設けている。 不定期ではあるが保護者参観を実施している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	1	保護者参観時に保護者動詞で交流する時間をとっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	12		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	1			